

103-206

問題文

35歳女性。なぜの症状緩和のため、一般用医薬品を購入する目的で薬局を訪れた。患者情報及び相談内容は以下のとおりであった。

症状：筋肉・関節の痛み、肩こり、鼻水、くしゃみ、のどの痛み、せきの順に症状がづらい。

治療中の疾患：現在なし。

相談事項：明日、社内健康診断で血液検査と尿検査をする。以前、総合感冒薬を飲んだときに尿の色が鮮やかな黄色になったことがある。明日の尿検査の際、採尿カップ内の尿に色が着くと恥ずかしいので、尿に目立った色が着かないかぜ薬を希望する。

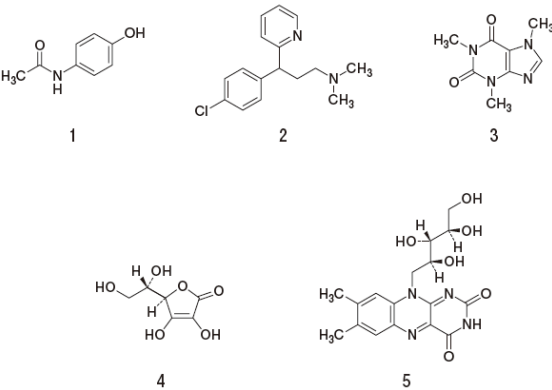
問206

この患者に合わせた一般用医薬品を選択するにあたり、必要な成分の組合せとして以下の4成分を考えた。成分A及び成分Bとして適切なのはどれか。2つ選べ。

- アセトアミノフェン
 - dl-メチルエフェドリン塩酸塩
 - 成分A
 - 成分B
1. アスコルビン酸
 2. チザニジン塩酸塩
 3. クロルフェニラミンマレイン酸塩
 4. フルスルチアミン塩酸塩
 5. リボフラビン

問207

この患者は以前に総合感冒薬で尿の着色を経験している。その原因と考えられる化合物はどれか。1つ選べ。
なお、一般に、長い共役系を有する化合物は可視領域の光を吸収する。



解答

問206：3, 4問207：5

解説

問206

選択肢 1 ですが

アスコルビン酸は ビタミン C です。 かぜの症状緩和のため、という目的に対して 適切とはいえません。 よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

チザニジンは、 α_2 作動薬です。 腰痛などに用いられる筋緊張緩和薬です。 かぜの症状緩和のためとしては 不適切です。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は、正しい記述です。

クロルフェニラミンマレイン酸塩は 抗ヒスタミン薬です。 くしゃみ、鼻水の症状緩和が期待できます。 フルスルチアミンは、 ビタミンB₁ です。 筋肉痛・関節痛の症状緩和が期待できます。

選択肢 5 ですが

リボフラ빈は尿を着色するため 不適切です。

以上より、正解は 3,4 です。

問207

選択肢 1 は

アセトアミノフェンです。

選択肢 2 は

クロルフェニラミンです。

選択肢 3 は

カフェインです。

選択肢 4 は

アスコルビン酸です。

選択肢 5 は

リボフラ빈です。 尿の着色の原因はリボフラ빈です。

以上より、正解は 5 です。